



傍観者になるな！



「いじめ・いのちについて考える日」について、本日の全校集会で
お話した内容に少し補足をして紹介します。

2013年の5月に広島の中3生の女子が自ら命を絶しました。後の調査でいじめが原因だと判明しました。それから各地でいじめについて考える日が制定されていき、大阪市では2017年から5月のGW明けの最初の月曜日と制定されました。そして3年前からいのちについても考えるということで、本当であれば来週の5月11日が「いじめ・いのちについて考える日」ということになります。ただし、今年度は11日から中間テストとなるため、今日に設定してもらいました。

これまで、何度も何度もこの時期に同じ様な話を聞いているかと思います。「いじめ」は絶対にダメだということはみんなもよくわかっているかと思います。しかし、大切なことなので繰り返しますが聞いてほしいと思います。昨年は、校長先生が小学生の時、自分がいじめをしていたという、本当は誰にも知られたくない、恥ずかしい話をしました。当時は、**加害者**である自分、**被害者**である女の子、この1対1の関係のように思っていました。よくよく考えてみるとそれだけではないことに気づきました。自分の周りには仲の良い友達が数人、いつもいました。その仲間が、面白い、はやし立てる、だから、さらにいじめがエスカレートしていく。そんな感じてした。いわゆる”**観衆**”の存在です。さらに、その周りには、気づいている、かわいそうだと思っているのに知らん顔をしている”**傍観者**”の存在がありました。みんなはこんな存在になったことはなかったでしょうか。被害者の女の子からすると決して1対1の関係だけでなく、複数の人間から見放されて、どれほど辛かっただろう、どれほど怖かっただろう、と今となれば十分理解できます。こんな時にも、一人でも「大丈夫？」と声をかけてくれる人がいたらどれだけ救われたことでしょうか。大人や先生たちに相談してくれる人がいればどうだったでしょうか。これは決して「告げ口」でも「チクリ」でもありません。**一人の人の大切な命を守る行動**です。どうかそのことを忘れずにこれからもいじめを許さない一人ひとりであってほしいと願っています。

来週は中間テストです。**無回答0(ゼロ)**を目指して、頑張っていきましょう。

「いじめ問題撲滅宣言」

★「いじめ」が起こらない学校を作るために・・・

- ・一人一人が思いやりの心を持ちます。
- ・相手に傷つけられた時は「いや」とはっきり意思表示します。
- ・相手を傷つけたと思った時は、すぐに謝ります。
- ・その場にはいない人の話は極力慎みます。
- ・自分を大切に、他人はもっと大切にして、互いの意見を尊重します。
- ・みんなにとって楽しい学校が作れるように努力します。

野田中学校生徒会

★もし、学校で「いじめ」が起こったら・・・

- ・「いじめている人」は、自分のしていることを自覚し、悔いあらためます。
- ・「いじめられている人」は、一人で絶対悩まずに、人に相談する勇気を持ちます。
- ・「近くの人」は、いじめを止めたり、注意できる人になります。
- ・「まわりの人」は茶化さずに解決の方向へ導きます。
- ・「いじめ」というのは、一人一人の心がけで必ずなくせます！！